

令和5年第3回雲仙市議会定例会

市長報告 (開会)

令和5年8月31日

雲仙市長 金澤 秀三郎

はじめに、7月上旬にかけて発生した豪雨による本市の被害状況について、報告させていただきます。

公共土木施設災害につきましては、市道22箇所、河川4箇所では被害が発生しており、復旧に要する概算事業費は2,214万円と試算しております。

また、農業用施設等災害につきましては、農地被害が12箇所、農道や水路施設の被害が11箇所が発生しており、復旧に要する概算事業費は6,890万円と試算しております。

今後、早期の復旧と、防災・減災に向けた市民の皆様への安全、安心の確保に努めてまいります。

なお、この間の大雨災害により被災された全国各地の皆様への生活再建を支援するため、市役所本庁及び福祉事務所、各総合支所に、義援金の募金箱を設置いたしました。

今回被災された全国各地の皆様に対しまして、心からお見舞い申し上げます。

次に、橘湾における赤潮被害について報告させていただきます。

本市におきましては、8月4日、トラフグやマダイなどの

養殖魚被害が最初に確認されております。

本市における養殖魚の被害額は調査中ではありますが、長崎市を含む県全体の被害額としては過去最大となる見込みと伺っております。

今回被害を受けた養殖業者の皆様にご心からお見舞い申し上げますとともに、今後も引き続き状況を注視し、長崎県及び長崎市と連携のうえ、被害を受けた養殖業者の皆様への有効な支援を検討してまいります。

また、この度、一般社団法人島原半島観光連盟職員による業務上横領事案が発生しましたので、報告させていただきます。

当該団体は、島原半島各市からの負担金を主な収入として運営しており、多くの市民の皆様のご信頼を損なう事案であると思っております。

今後、外部調査委員会による調査が行われますが、早急に全容を解明することにより、市民の皆様のご信頼回復に努めていただき、所期の目的を早期に達成できる団体となつていただきたいと思います。

続きまして、市民の皆様のご活躍につきまして、報告させていただきます。

【令和5年度消防功労者総務大臣表彰について】

7月18日、「令和5年度安全功労者・消防功労者総務大臣表彰」の表彰式が行われ、雲仙市消防団長の川上清記様が、郷土愛護の精神に基づき、消防活動、火災予防思想の普及等に献身的に尽力されているご功績により、消防功労者総務大臣表彰を受賞されました。

川上様におかれましては、公益財団法人 日本消防協会 副会長、及び消防協会 九州ブロック協議会 会長にも就任されており、今後とも益々のご活躍を祈念いたします。

【長崎県中学校総合体育大会について】

7月22日から24日にかけて、「長崎県中学校総合体育大会」が県内各地で行われ、雲仙市の中学校から12競技に出場し、陸上競技で1名、柔道競技で5名、ソフトテニス競技個人でペア1組が、また、ソフトテニス競技団体で国見中学校男子、サッカー競技で国見中学校が九州大会への出場

権を獲得されました。

また、8月17日から23日にかけて、「全国中学校総合体育大会」が開催され、柔道競技女子で愛野中学校3年の石橋凜彩さんと、ソフトテニス競技団体で国見中学校男子が出場されました。

【小浜中学校吹奏楽部九州大会出場について】

8月26日、「第68回九州吹奏楽コンクール」中学生の部において、長崎県代表として出場した小浜中学校吹奏楽部の皆さんが、見事金賞を受賞されました。

【スポーツの分野における活躍について】

7月29日から8月4日にかけて開催された「令和5年度全国高等学校総合体育大会」サッカー男子の部において、国見高校サッカー部が第3位となり、19年ぶりのメダルを獲得されました。

また、8月19日、20日に開催された「KYFA第11回九州O-40サッカー大会」において、「国見FCシニア」が見事優勝を果たされ、9月30日から10月2日にかけて

開催される「JFA第11回全日本O-40サッカー大会」に出場されます。

【ジュニアスポーツの分野における活躍について】

8月25日から27日にかけて開催された「第38回全九州小学生バレーボール優勝大会 in 長崎」に「国見VBC」が出場され、準優勝の成績を収められました。

また、6月に開催された県予選で4位の成績を収められた「八斗木少年ソフトボールクラブ」が、8月19日、20日に開催された「第41回全九州小学生男子ソフトボール大会」に出場されました。

さらに、8月11日に開催された県予選で6位の成績を収められた「国見ジュニア」の松尾健琉さん、松尾陽希さんペアが、11月18日、19日に開催される「第28回九州小学生ソフトテニス選手権大会」に出場されます。

【雲仙市中学生弁論大会について】

7月26日、「第73回社会を明るくする運動 第16回雲仙市中学生弁論大会」において、各中学校の代表7名が

発表し、最優秀賞に選ばれた吾妻中学校3年の柴田茉星さんが、7月31日に開催された県大会に出場され、見事最優秀賞を受賞されました。

この度、様々な分野においてご活躍され、また、受賞をされました皆様方に対し、心からお祝い申し上げますとともに、なお一層のご活躍を期待しております。

続きまして、主な市政の取り組み等につきまして、第2次雲仙市総合計画の基本方針に基づき、報告させていただきます。

【基本方針1「暮らしと安心」の分野について】

地域防災体制の強化につきましては、8月10日、株式会社リョーユーパン代表の北村俊策様より、地域社会への貢献活動として、災害用パン非常食3,000食のご寄附を賜りました。

ご寄附いただきました災害用パン非常食につきましては、避難所において、避難者へ提供する非常食として有効に活用

させていただきます。

北村様のご厚意に深く感謝申し上げますとともに、今後のご活躍を祈念いたします。

【基本方針 2 「産業と交流」の分野について】

受け入れ基盤の整備・充実につきましては、8月17日、一般社団法人雲仙観光局の山下代表理事とともに、高橋観光庁長官を訪問し、「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」の採択、及び「高付加価値旅行者の誘客に向けて集中的な支援等を行うモデル観光地11地域」の選定に対するお礼や、地域が抱える観光の問題点等について意見交換を行いました。

また、来年の3月16日に雲仙地域が国立公園指定90周年を迎え記念イベント等もあることから、高橋長官の雲仙市訪問について要望を行いました。

【基本方針 3 「社会基盤と環境」の分野について】

主要道路の整備につきましては、8月30日、松尾議長とともに国土交通省九州地方整備局長、長崎河川国道事務所長

に対し、愛野町から小浜町までの幹線道路の整備等について要望を行いました。

今後、関係者の皆様と連携を図りながら、国道57号富津防災事業の推進と、愛野町から小浜町間の幹線道路整備の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

再生可能エネルギーの活用につきましては、7月3日、宅島建設株式会社様により雲仙市環境センター敷地内に設置されました木質バイオマスボイラーが稼動を開始しました。

今回の導入により、化石燃料を森林整備に由来する木材等へ転換することで、地域内での経済循環及び二酸化炭素排出量抑制の効果が期待されますので、今後につきましても、他の施設への導入に向けて研究を継続してまいります。

【基本方針5「協働と戦略」の分野について】

市民活躍のまちづくりにつきましては、8月5日に「令和5年度ちぢわふるさと夏祭り」、8月11日に「第14回南串山ふるさと夏まつり」、8月15日に「みずほ夏まつり」、8月19日に「吾妻町夏祭り」、8月20日に「第10回

ふれ愛 愛の夏まつり」、8月26日に「第47回くにみ夏の夜市」が開催されました。

実行委員会の皆様をはじめ、関係各位のご尽力に対し、心から感謝申し上げます。

自主財源の確保につきましては、7月6日、旅先や出張先で手軽に寄附ができる現地決済型ふるさと納税システム「ふるさとNow」を九州の自治体で初めて導入し、雲仙ゴルフ場や市内宿泊施設において寄附の受付を開始いたしました。

「長崎県への施策に関する要望・提案書」につきましては、7月20日、市議会から松尾議長をはじめ、議員の皆様とともに、生活基盤の整備、安心・安全なまちづくり、産業の振興等に関する施策など12項目をまとめ、大石知事及び長崎県議会へ提出いたしました。